

## 令和5年度 第2回島田市立学校給食センター運営委員会会議要録

- ・日 時 令和6年2月13日（火） 午前10時30分～11時50分
- ・会 場 南部学校給食センター研修室
- ・出席委員 安間孝雄会長、天野順司副会長、沖 剛副会長、磯貝隆啓委員、原喜恵子委員、榊原紗代子委員、河村愛委員、横山幸子委員、山田誓午委員、西田あや乃委員、永田広之委員、木原正和委員、
- ・事務局 山中教育長、小松原教育部長、村田学校教育課長、矢部学校給食課長、剣持栄養教諭、佐野栄養教諭、野末主任栄養士、家田課長補佐

### （議事内容）

#### 1. 開会（司会）

司会より、委員12人中 12人出席しているため、島田市立学校給食センター運営委員会の会議の成立を報告する。

#### 3. 挨拶（教育長）

みなさん、こんにちは。教育長の山中です。本日はお忙しいなか第2回島田市立学校給食センター運営委員会に出席いただきましてありがとうございます。事務局より試食会も計画しております。こういうこともとても大事なあとと思います。最近の学校の様子ですが、インフルエンザ、コロナが流行している学校もあります。インフルエンザが流行っている学校はコロナが少なく、コロナが流行っている学校はインフルエンザが少なくどちらかに偏っているなあとと思います。1月に入り数学級、学級閉鎖となりましたが、2月に入り、中学校の1年生が学級閉鎖となりました。3月に向けて、終業式、卒業式が計画されておりますので、子供達が元気に通ってくれたらいいなと思っております。教育委員会としては、今後も子供達が安全安心で美味しい学校給食を食べていただくよう努力していきますので皆様御理解御協力をお願いいたします。本日の案件ですが、令和5年度学校給食事業の実施状況につきまして、協議事項として令和6年度学校給食事業計画について、また、昨今の賄材料費、燃料費の高騰を受けて給食費も影響を受けておりました令和6年度どのように考えているかをご説明させていただき、皆様の御意見をいただきたいと思っております。また、その後報告事項として来年度以降中部学校給食センター、南部学校給食センター調理、配送、配膳についてご説明させていただき、今後の島田市の給食事業の報告をさせていただきます。本市におきまして給食事業が無事に順調に運営できますよう皆様の御意見をいただきたいと思っております。本日はよろしくおねがいたします。

運営委員会規約第5条第4項の規定により、これ以降会長が議長を務めた。

## 6. 説明・報告事項

### (1) 令和5年度学校給食事業の実施状況について事務局より説明

#### 事務局

令和5年度学校給食事業の実施状況について、資料1ページをご覧ください。後程説明があるものもございますので簡単にご説明いたします。月毎にまとめであります。定例的な事業としてほぼ毎月行っております給食の食材を選ぶために保護者様や学校の先生がたにもご参加いただいております物資選定会、献立会議等は定期的に行っております。月毎の事業となりますが、5月末に島田第一中学生の職場体験の受け入れを行いました。昨年度同様に、5月中国、6月アメリカ、10月韓国と島田市と関係の深い国々、姉妹都市や友好都市の料理を提供いたしました。また、1月の島田市学校給食週間では、島田商工会議所と連携してしまださくらめしの提供を行いました。衛生管理を徹底するため、衛生研修会を開催しております。薬剤師による衛生検査も各センター毎に実施しております。なお、2月の薬剤師による定期衛生検査は3月5日・6日火曜日・水曜日となりましたので、3月の島田市学校給食地産地消推進連絡会は18日月曜日となりましたので、追記をお願いいたします。

令和5年度学校給食残食率について報告します。掲載してあるものが令和5年12月末までになっていますが、6年1月末が出ましたので、その結果の報告ですが、小学校の残食率平均は、8.04%、中学校は6.28%、小中併せた平均が、7.38%となっています。

次に3ページをご覧ください。島田市学校給食における地産地消の推移について報告します。令和5年度12月末までの島田産の品目割合は、37.5%、重量割合は、33.77%、金額割合が44.31%となります。

次のページに詳細が載っています。令和4年度に比べて、島田産の品目としてはズッキーニが増加しました。詳細はご覧ください。

次の6ページをご覧ください。普及啓発事業については、学校給食市民試食会を6月に南部学校給食センターで23名の参加、11月に中部学校給食センターで実施し27名の参加がありました。また、11月から学校給食を知る会と名称を変更して実施しております。

また、7月28日に夏休み学校給食センター施設見学会を実施し20組47名の参加がありました。

コロナ禍明けて久しぶりの開催として、夏休み親子料理教室を実施しました。親子料理教室は、14組32名の参加、生産者の学校訪問は6名の方に栄養教諭と一緒に学校に訪問しお話をさせていただきました。

また、今年度も生産者の紹介動画を作製し、ホームページに掲載しておりますのでご覧いただければと思います。

次に、食物アレルギー対応食の報告をします。8ページをご覧ください。

対象品目は、卵、乳製品、エビ、カニ、イカ、タコの6品目の除去食でおかずのみ提供しました。

対象者ですが、中部給食センターで26人、南部給食センターで13人に提供をしました。

詳細は資料をご覧くださいと思います。

続きまして、9ページ島田市学校給食費の徴収状況についてご報告いたします。令和6年1月26日現在で記させていただいております。1. 現年度学校給食費徴収状況につきましては、1月から3月分は計上してございませんので、調定額も収入額も低い金額となっております。収納率は98.42%ですが、決算見込みとしましては、99.96%まであがると思われます。2. 過年度分学校給食費徴収状況につきましては、調定額300,224円、収入済額88,185円、収入未済が212,039円、収納率が29.37%ですが、決算見込みとして収納率37%程度を見込んでいます。実施報告につきましては以上でございます。

#### 委員

2ページの残食率について、学校によってかなりのばらつきがあるようですが、理由は大体わかるのですが、対策はどのように考えているか。

#### 栄養教諭

コロナ禍が一番の理由かと思います。今の1・2年ですと、保育園幼稚園の頃から前を向いておしゃべりをしないでということが徹底されてきました。最近になり私たちもようやく学校に給食訪問に行くようになりまして、南部学校給食センターですとすぐそばの初倉小に行くのですが、子供たちに一声かけると食べ方が違ってくるのですが、ここ何年か全くできてなかったのが、今後そのようにし、減少傾向にしていきたいと思います。大規模校ほど徹底されていて先生がたも声をかけづらい状態が続いていたかと思います。献立内容が変わったりと

いうことはないのですが、来年度以降は楽しい給食時間を取り戻していただいで、数値が下がってほしいと思います。栄養教諭の学校訪問も控えていたのですが、今度、栄養教諭の給食訪問を再開して子供たちに直に給食を作っている状況を知らせたり、以前は調理員も訪問したりなどしていますので、その辺りを計画立てて美味しく楽しく食べられる環境を作っていきたいと考えています。

#### 委員

令和2年度から4年度まで残食率6%台となっていて、令和5年度が増えてしまって8%台になってしまっていて、不思議だと思うのですが、コロナ禍では先生方が努力して黙って食べることを徹底してこの%を維持できていたと思うのですが、自由におしゃべりができて食べるよりおしゃべりが楽しくなってしまったということなのか、学校の方の指導となりますが、子供達の意識の高揚を図っていくことが必要なのではないかと思います。学校のほうがどうとらえているのか教えて下さい。

#### 委員

中学校の数字をみると、高めではあるが、少しずつ下がっているのかなあと思っています。

給食は、本人が食べられる量となっています。強制的には食べさせられない。自分たちの準備する時間をできるだけ楽しくしてそれを競争化する。クラスごとに時間を図ったりしてどこのクラスが一番早かったかねと。本校ですが、1月の結果を見ると3%台まで減ってきているのががんばっているのではないかと思います。和え物が10%以上残量があり、何とかできないかと思います。数字だけ減らすという意味ですが、バランス良く食べるということも大事ですが。和え物にふりかけを持ってきてかけるなどそれもいいのか悪いのかと、ふりかけをすると塩分摂取となりますし、これは良くないかと。ご飯の量だけ減らすとなるとふりかけ、それがいいかどうかというのは別問題であり、難しいかと思っいます。和え物対策と時間対策なにか良い手段があればいいかと思っっています。

#### 委員

小学校は、昔は給食の後、残って食べるということもありました。それはなくなってきていて、ただ自分がもらった分は食べるという指導はしております。初倉小は4%になってきて年度初めからは減ってきている。栄養教諭が指導してくれているので効果があるのかと思います。初倉小では給食で使用するとうもろこしの皮むきを3年生がしており、食材に対する愛着にでて効果があったかと思っいます。残量に影響があったかはわかりませんが。栄養教諭がアレルギー対

応だけでなく保護者を交えて偏食指導もしてくれて保護者と一緒に考えてくれて悩みが解消できたということがあります。

#### 学校教育課長

不登校の子供も増えてきており、不登校の子たちの給食を止めてない場合もあり、不登校の児童生徒が月毎に増えていくので、その子達の方も給食の残量に影響しているかと思えます。

学校の指導の仕方もいろいろあって、全部食べ切るところもあり、適量を食べさせるということもあります。必要以上に食べさせるということは肥満傾向につながることもあり、将来的に大人になるための適量を食べさせるという指導もありますので、一概的に言えません。

#### 事務局

12月は、学級閉鎖が沢山あり、12月末の残食が多いのは学級閉鎖が関わっている、給食を他のクラスに振り分けるのでそれで多いかとおもいます。夏から12月までが増えていて、1月から3月が減っている状況です。

4月は確かに少なく5・6月と増えていきますので、段々不登校の子が増えていくのかとは見て取れます。

#### 栄養教諭

学級閉鎖は、明日明後日という材料の変更ができないので、その分は他のクラスに分けたりしてます。その辺のしわ寄せが月毎には出てくるのかなど、ふりかけのお話がありましたが、文科省よりは塩分の摂取をなるべく規定量に近づけるよう指導を受けていて、ご家庭よりは給食は薄味となっています。きゅうりのひたひたなど味の濃いものは子供たちが好きでよく食べますが、薄味に仕上げたものは残食が多い。子供達の健康を考えた場合と嗜好を鑑みた場合と影響がでているかと。

#### 委員

子どもたちが家に帰ってきて言うことは、「今日レバーだった、苦手だった。皆残している。」との話があるのですが、食育の観点からレバーは食べさせたいとは思いますが、結果として残しているということもありますので、もう少し食べ方、メニューや調理方法を変えるなどして工夫を大変だと思うのですが、引き続きやっていただければ、残食率が減るのかなあと保護者の立場からはそう思います。引き続き協力をお願いしたい。

## 栄養教諭

子供達の嗜好に合うような献立を考えたいのですが、国が栄養の摂取基準の改定があり、栄養の算出方法が変わったりして、今までの量では文科省が出している栄養摂取基準に届かず、エネルギーが足りない状況となっていて、お金がなくとの問題もあり、献立作成が難しいとのこともあります。自分たちは栄養のプロですので、今度検証して子供達の嗜好と健康とそういった数字を鑑見して献立を考えていきたいと思います。また、学校の指導も大きく影響しますので、皆さんで協力しあってこの数字を下げ子供達が健康に楽しく過ごせるようにしていきたいと思います。

## 議長

次に(2)令和6年度学校給食事業計画について説明を事務局よりお願いします。

## 事務局

令和6年度学校給食の事業計画について、最初に基本方針ですが、安心安全な学校給食の提供と、学校給食の充実と学校給食を生きた教材として活用した食育の推進に努めることを基本方針として挙げております。

2の具体的取組として、アからケの9つ分けてありますが、まずアですが、安全安心な学校給食を提供するため国が定める学校給食衛生管理基準に基づき、調理業務等の衛生管理を徹底していくということで、調理関係職員及び配膳職員、学校給食課の事務職員についても保菌検査を月2回実施しているところでございます。イですが、年間各学校183回の給食の提供を行っておりますが、ホームページに毎日のメニューを載せており、レシピや生産者のインタビュー動画を掲載しており、保護者や市民の方に啓発を行っているところです。給食の食材を選ぶ物資選定会も毎月1回実施しております。業者に実際に加工品を持ってきてもらい、保護者や学校関係者と投票により決めております。ウの食物アレルギー対応ですが、6品目の除去食を提供しております。藤枝、焼津市は実施していませんが、島田市では除去食を提供しております。保護者、教職員、給食センター職員による面談を実施しております。各学校の対象者、児童生徒のケアを行っているところでございます。

エですが、国や市の計画を踏まえて島田市産の使用割合金額ベースで56.2%を目指しております。残食率も6.5%まで戻していきたいと思っております。厳しい目標ですが、掲げていきます。

オの地産地消の推進事業ですが、生産者の学校訪問、DVDの放映により、農産物を作る工程や苦労話などを児童生徒に直接聞いていただくことで地産地消の推進を図っているところです。

カ、学校給食センターの調理用備品の更新を計画的に進めていきます。  
キ、職員の資質の向上ですが、研修会を通して、衛生管理の啓発と意識の向上を図っていきます。  
ク、学校給食費の未納解消を図ります。  
ケ、学校給食の民間活力の導入を図り、学校給食センターにおける運営の合理化を推進します。後程説明がございますが、今回直営で行っている中部学校給食センター調理を民間委託、今、民間で調理している南部学校給食センター調理を市の直営とし、来年度から行います。4月からの切替に向けて準備を進めているところです。来年度から民間の力を導入していくことで、効率化を図っていきます。

続きまして12ページをご覧ください。令和6年度学校給食実施計画となります。各学校183回の月毎の実施予定となります。来年度は北部4校が島田第一小に統合となりますので、中部学校給食センター13校、南部学校給食センターが6校に配食していきます。中部学校給食センター、南部学校給食センターともに195日の稼働日を予定しております。

13ページをご覧ください。令和6年度学校給食献立年間計画でございます。学校給食の献立につきましては、月ごとに目標をたて、季節や行事に即した献立を作成しています。地場産物や旬の食材を多く活用し、日本各地の郷土料理等も織り交ぜております。また児童生徒の作成していただいた献立も取り入れていきます。

次に14ページをご覧ください。令和6年度の給食時間における年間指導計画について、ですが、左側が、学校で指導いただく内容となります。それに加えて、右側部分になりますが、学校給食センターで、給食時間における食に関する年間計画をたてて栄養教諭が指導を行っていきます、その計画となっております。

15ページをご覧ください。  
令和6年度の学校給食普及事業になります。  
来年度は、学校給食を知る会は6月と11月に実施、夏休みに親子料理教室と学校給食センター施設見学会を開催予定です。6月のふるさと給食週間では、市長等市関係者の試食会を実施予定です。生産者の学校訪問についても、今年度と同程度実施していきたいと思っております。

続いて、17ページをご覧ください。食物アレルギー対応食の実施についてお話をさせていただきます。

除去食の対象者は、鶏卵、乳、エビ、かに、イカ、たこの6品目のアレルギーを有している児童生徒になります。

今年度12月から保護者・学校・給食センターの3者が入ってのアレルギー面談を進めております。面談の実施予定人数は49名の予定です。新規の児童生徒については、ゴールデンウィーク明けの5月から除去食の提供を実施していきます。

#### 議長

委員の皆様からご質問、ご意見をいただきたいと思います。

#### 委員

10ページの事業計画、非常に良い計画だと思います。特にエの島田市産農産物の使用目標56.2%ですが、地産地消については、以前栄養教諭の方から、島田は恵まれており、地場のものが沢山あり、藤枝、焼津はこれほどっていないとの話を伺いました。

ウの食物アレルギー除去食ですが、6品目ですが、以前はそばもあったかと思えます。エピペンを必要なお子さんは毎日職員室に預けて帰りに持って帰るとのことですが、今まで事故が起こったことがありますか。他市町でアレルギーの事故が起こったことがありますか。わかれば教えて下さい。

#### 事務局

アレルギー対応食は、志太地区では島田市しかやっておりませんが、西側の地区、菊川以西ではほぼやっております。

アレルギー発症事故については、6年位前、桃の事故がありました。

#### 栄養教諭

アレルギーが自分が何を持っているのかわからず、初めて給食で桃を食べてその後運動したとかで、アレルギーを発症したという事例があります。

私も子供がエビ・かにのアレルギーを持っている自覚がなく、たっぷり給食でエビを食べたあと昼休みにバスケットボールをしてアレルギーを発症して救急車で搬送されたと他市となりますが、ありました。単品では発症しませんが、エビのコロッケとごまあえを一緒に食べて多少運動したら発症したということは聞いております。島田市では桃でした。自覚がなく食べてしまったと聞いています。診断が出る前はアレルギーの対応ができていなかったので、そういった事故が起こってしまいましたが、診断が出た後であれば、例えば、ご家庭だと、豆乳を



使ったシチューを食べていて、シチューが大丈夫だと思って給食で乳を使ったシチューを食べて発症した例はあります。きちんとアレルギー対応ができていない時のことですが。最近では管理指導票というのが定着しており、学校の方でも把握しており、大きな事故は聞いておりません。

#### 議長

ないようですので、「令和6年度学校給食事業計画について」事務局案のとおりとすることにご異議ございませんか。

#### 委員

異議なし

#### 議長

ご異議なしということで、事務局案のとおり、承認することに決定いたしました。  
続きまして、(2) 令和6年度学校給食費の額について事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

令和6年度島田市学校給食費についてお諮りいたします。18ページになります。

1. 小学校 ①児童 一食274円、4558円を11ヶ月徴収していきます。令和5年度と変更ございません。  
②教職員となりますが、児童の274円に物価高騰分として22円を加算させていただきます。2. 中学校 ①生徒一食327円、月額5,440円を11ヶ月徴収します。令和5年度と変更ございません。  
②教職員ですが、物価高騰分として25円を生徒単価に加算させていただきます。352円としていきたいと考えています。
3. 島田市立学校給食センターの職員についても、児童単価に22円を加算いたします。

学校給食費につきましては、全額賄材料費、食材の購入費に充てております。昨今の物価高騰により、食材費が値上がりしておりますが、今年度は、国の新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を活用して児童20円/食、生徒23円/食分の保護者負担を増やすことなく対応しております。令和6年度につきましては、物価高騰分として一食あたり、小学校で22円、中学校で25円の賄材料費の

増を見込んでおり、一食単価 小学校で 296 円、中学校で 352 円の賄材料費を必要とします。児童生徒の賄材料費の増額分については国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して対応するため、学校給食保護者負担金を令和 5 年度と同額として据え置くこととしました。ただしこの交付金の対象があくまでも児童生徒の給食費に対応する支援となっておりますので、教職員については、ご負担いただくこととなります。小学校で喫食する教職員及び学校給食センター職員については、一食あたり 22 円、中学校で喫食する教職員は 25 円を来年度はご負担いただきたいと思います。なお、今年度につきましても、教職員の皆様には小学校、センター勤務職員には一食あたり 20 円、中学校勤務教職員には 23 円のご負担をいただいております。

児童生徒の保護者負担については来年度も据え置くこととし、ご協議をおねがいいたします。

#### 議長

委員の皆様からご質問、ご意見をいただきたいと思います。

#### 委員

金額が同様ということでありがたいと思います。近隣市町の状況についてわかりましたら教えてください。

#### 事務局

給食費の値上げを予定しているのは、〇〇〇、そのほかは値上げの予定はないようですが、物価高騰分については一般財源で補填することですが、一般財源については臨時交付金を活用して対応していくことと思います。

#### 委員

金額的なことはわからないのですか。

#### 事務局

値上がり分は不明です

#### 委員

昨年いただいた金額（学校給食費に物価高騰分を足した金額）は島田市は高めと聞いています。またわかったら教えてください。

**委員**

給食費は過去にも毎年変動するものですか。

**事務局**

給食費は令和2年度に改定しており、その前は平成21年度に改定しております。

その間に消費税が上がったことによる消費税分の改定（平成26年度）を行っております。

**委員**

基本毎年スライドでやっているのですね。今年は交付金を活用しながら、昨今の原材料費の値上げ等によってコスト的にはかかっているとは想定するのですが、今後、市の財源を回していただいでできるだけ保護者の負担が少ないような形態を取ってくださっていると考え方でよろしいですか。

**事務局**

令和6年度について国から交付金をいただけるため対応をしますが、令和7年度以降につきましては、この状況ですと、給食費を値上げしなければならない状況となっております。来年度、食材の値上がり等を考えて給食費を検討していきたいと考えております。

**委員**

保護者負担金が据え置きということでありがたいと思います。保護者に給食費についてお知らせする配布物がありますか。

**事務局**

毎年4月に保護者宛てに通知しています。

**委員**

昨年、教職員やセンター職員は交付金の対象にならないので集金するという通知が後に出たように思いますが。

**事務局**

交付金の対象が7月からとなっており、子供たちの一食単価は7月からの給食が20円増（児童分）となっております。子供達の給食費の通知は4月であり、その時期には7月からの対応は未定でした。

#### 委員

教職員のことが全然出ていなくて、同時に児童は交付金を活用して据え置きますよ、教職員は自己負担の分がありますよということを周知する部分がなかったの、その分を一緒に知らせてくれたらありがたいと、前に反省会が出た意見がある。今年度はまた教職員の単価が去年より上がっていますよね。

#### 事務局

教職員が上がっていることを児童生徒に知らせる必要があるのかどうか。児童生徒は臨時交付金で負担していますとお知らせすることはわかりますが、教職員は上がっていますとお知らせするということですか。

#### 委員

教職員は交付金を受けていないということです。

#### 事務局

児童生徒に配布するものに対して教職員は交付金を受けていないということをお知らせする必要があるかどうかということですが、むしろ、児童生徒は臨時交付金で保護者負担がこれだけ安くできていますよとご通知するのは理解できますが、教職員は負担していますよと記載したほうが良いという意見でよろしいですか。

#### 委員

ある校長から「島田の教育を語る会」で文書が教職員のことが記載されていないから保護者が混乱するのではないかとご意見があったと記憶があるのですが。

#### 事務局

保護者の方はどう考えられるのでしょうか。

#### 学校教育課長

そういった誤解もあったことから学校教育課から保護者あて通知を出しました。

#### 教育長

委員がおっしゃっているのは校長会からの話合いで、子供たちの金額は変わっていないのに先生方は上がっていたので、文書で通知をくれたらいいなという話がありましたので、学校教育課より通知を出しました。

委員がおっしゃっているのは、そういうのを出した方が良くとおっしゃっているのですね。

**委員**

給食センターとは別とのことですか。

**事務局**

給食センターは通知をしております。

**教育長**

給食センターは子供達に通知した後、校長会から受けて通知しております。今回やり方を検討いたします。

**委員**

生産者の立場からの意見を言うと、給食費は上がって当然です。人件費も30%上がっております。肥料も最大で40%上がっております。原価でいうところの30%・40%の値上げという非常に利益が少なくなっております。給食費を据え置きしたということで、給食センターがかなり努力をされたと思います。そこらへんは理解していただけると助かります。

**委員**

委員のおっしゃっていたことは校長会で出た記憶があります。保護者に知らせるかどうかは別として、教員の額は違いますよ、こういう理由で知らせられる次点で、早い段階で知らせてくれれば良いかと思えます。

**学校給食課長**

学校給食費については、今度の校長会でもご説明させていただきます。

**議長**

ないようですので、「令和6年度島田市学校給食費の額について」事務局案のとおりとすることにご異議ございませんか。

**委員**

異議なし

#### 議長

ご異議なしということで、事務局案のとおり、承認することに決定いたしました。

続きまして、5. 報告事項 島田市立中部学校給食センター調理及び市内小中学校配膳・配送委託について事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

5. 報告でございます。島田市立中部学校給食センター調理及び市内小中学校配膳・配送委託契約につきましてご説明いたします。第1回目の運営委員会において、令和6年度から11年度までの中部学校給食センターの調理、市内小中学校への配送及び配膳業務の業者選定を今年度行うことをご報告しておりますが、業者が決定し、契約を締結しましたのでご報告いたします。9月1日に公募型プロポーザルの公告を行いまして2社の応募がありました。この2社によるプレゼンテーションを10月30日に実施し、株式会社魚国総本社名古屋本部を優先交渉権者として審査委員会が選定いたしました。結果は1のとおりです。株式会社魚国総本社名古屋本部とは5年間で935,088,000円の契約額で12月11日に契約を締結いたしました。現在、引継ぎ業務を行っているところでございます。南部学校給食センターについては、市の職員による調理となりますので、現在、それぞれの調理員をそれぞれのセンターにおいて研修を行っているところでございます。4月からの学校給食が円滑に提供できるよう準備を進めているところでございます。

以上でございます。

#### 議長

委員の皆様からご質問、ご意見をいただきたいと思えます。

#### 委員

配膳室は暑く、配膳員が汗だらだらで働いております。働く環境で、食品を扱う所ですので、エアコンを設置してくれたらと思えます。今年冷風機を入れてくれましたが、湿度が高くなって途中で使用しなくなりました。配膳室にエアコン設置していただけないのかなど。

#### 教育部長

冷風機については、エアコンを設置されていない学校に、試験的に昨年急遽入れさせていただきました。予備的経費を使いまして。効果があったという学校もあり、逆効果という学校もありました。どんなやり方があるのか検討させていただ

きたいのですが、エアコンについては、老朽化が進む校舎もあり、施設整備費を優先順位をつけてやっているところです。エアコンについては、その他の教室でもついていないところもあり、全体のなかでやらせていただいております。

**議長**

その他ございますか。  
ないですので事務局からその他ございますか。

**事務局**

特にはございません。

**議長**

以上で議事は全て終了となります。皆様熱心にご協議いただきましてありがとうございました。それでは進行を事務局に渡します。

**事務局**

安間会長、委員の皆様どうもありがとうございました。  
以上をもちまして令和5年度第2回島田市立学校給食センター運営委員会を閉会いたします。ありがとうございました。